

令和3年度「コンピュータシステム技術」シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	コンピュータシステム技術			教科名	工業（情報通信系列）
学年	2年情報	単位数	2単位（70時間）		

1 科目「コンピュータシステム技術」について

学習の到達目標	情報処理システムの分析、設計、構築、運用などのコンピュータシステムに関する知識と技術を習得させ、ネットワークシステム、データベースシステム、マルチメディアシステムにおける分析、設計、構築、運用、保守などに実際に活用する能力と態度を育てること。
使用教科書	7実教「工業375 コンピュータシステム技術」

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの分析、設計、構築、運用などにおいてコンピュータシステムに関する知識と技術に興味をもち、マルチメディアシステム、ネットワークシステム、データベースシステムについて学習しようとする意欲をもち、実際にそれらを活用しようとする能力と態度を身につけている。 マルチメディアに興味があり、実際にどのように利用されているかを探求する意欲がある。 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータシステムを構築するために必要なソフトウェアとハードウェアの役割を認識し、目的とするシステムを構築するためには、どのようなソフトウェアとハードウェアを選択すればよいかを判断することができる。 マルチメディアで扱う文字・音声・静止画像・動画などの表現メディアの特性を理解しており、適切なメディアを選択して利用し、情報を発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディアで扱う文字・音声・静止画像・動画などの表現メディアの特性を理解しており、適切なメディアを選択・利用してマルチメディア文書やWebページを作成し情報を発信する技術・技能を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータシステムを理解するうえで必要な、基本的なハードウェアとソフトウェアの知識を身につけている。
出席状況、提出物 平常の学習活動 学習態度、自己評価	ペーパーテスト 観察力 小論文等	発表表現能力 文章表現能力	ペーパーテスト レポート内容

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できていると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	100～81	5
十分満足できると判断されるもの	80～66	4
おおむね満足できると判断されるもの	65～51	3
努力を要すると判断されるもの	50～35	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34～0	1